

市制80周年を祝して… 西宮在住の クロード・チアリ さん



1944年フランス・ニース生まれのギタリスト。1964年「夜霧のしのび遣い」が世界的に大ヒット。日本で暮らし始めた1975年以降ずっと、西宮で生活しています。コンサート、ディナーショーなどの音楽活動のほか、講演会やテレビ出演などその活動は多方面にわたっています。2002年秋にはベルサイユ宮殿で、2005年4月にはパリでディナーショーを行うなど、活動の場は世界に広がっています。

Claude Ciari, Guitarist
He was born in Nice, France in 1944. In 1964, the rumba "La Playa" became a worldwide hit. He has been a citizen of Nishinomiya since his arriving in Japan in 1975. His wide scope of activity includes concerts, dinner shows, giving lectures and TV appearances. He also performs abroad. He held concerts at the Palace of Versailles in the fall of 2002 and in Paris in April, 2005.

生活してみても気付いた西宮の特徴は？

私は南フランス・ニース生まれのハリ育ち。苦菜園の家からの眺めは、丘から海が見えるニースの眺めと同じなんです。周囲は静かな環境で、近くには北山緑化植物園もあって、自然が豊かなのが気に入っています。大きなまちは自然も少なく、空気が悪いのが普通ですが、西宮での暮らしでは自然の移り変わりを感ずることが出来ます。演奏活動



阪神・淡路大震災で強く印象に残っていることは？

各地を回りますが、ほかのまちを見てきているからこそ、西宮の捨てがたい魅力を感じています。

阪神・淡路大震災で強く印象に残っていることは、庭が5センチくらい動き移動しました。照明器具も壊れてしまいました。食器棚から食器類が飛び出していました。水道管、ガス管も破裂してしまいました。震災前日、バスタブにお水をためて残していたから、しばらくは生活のための水として助かりました。妻の

震災後、全国各地でチャリティコンサートを開催されたね？

古くからの友人が九州からトラックで水を2トンくらい運んでくれ、周りの人にも水を分けてあげました。このような助け合いの気持ちが高まってきたのは、関西ならではの地方性だと思います。普段は会話の無かった人とも、震災で親しくなったのではないだろうか？

災害発生時、人的なサポートはもちろん必要ですが、経済的な支援も大切な要素だと思いました。長崎普賢岳噴火のときも、チャリティコンサートをを行ったのですが、阪神・淡路大震災後も、1年かけて全国各地数十箇所で開催されました。

県立芸術文化センターオーフンへの期待は？

クラシックやオペラに限らず、みんなが見に行きたいもの、聴きに行きたいものを提供してもらいたいと思います。小規模ホールなら多様な公演ができると思います。この施設が文化交流の場になって欲しいです。西宮でも積極的に音楽事業が展開されるといいですね。

これからの西宮に期待することは？

大きなまちであるメリットを有効に活用して欲しい。市が民間企業を引っ張って、共に事業を興すのも一つの方策だと思います。

また、西宮が面する海岸線も有効に活用できるのではないだろうか？パリでは夏の間、セーヌ川沖をピチチのように開放して、みんな太陽を満喫しています。



また、音楽だけでなく、西宮には美術館、博物館もあるという、文化的環境が整っていること、の宣伝も必要だと思います。施設の充実

最近、苦菜園や甲陽園あたりには、ブティックができ、スイーツの店ができ、おいしいレストランができ、とても便利で魅力的なまちになりました。全国から訪れる人がいるほど、素敵になりました。そしてイメージが定着しましたね。神戸や大阪に行かなくても西宮でいろんなことが満たされるようになって欲しいです。

